

健全育成シリーズ (114) 四十億年の命



郎の「生きる」という詩の最後の一節は、次のように書かれています。

生きるということ

いま生きているということ

鳥ははばたくということ

海はとどろくということ

かたつむりははうということ

人は愛するということ

あなたの手のぬくみ

いのちということ

最後の二行は、命とそのあたたかさが伝わってきます。

今年には二十世紀最後の年で、今月は最後の月です。世紀の呼び方が変わっても、急に何かが変わるものでもないだろうけれど、大きな節目の日を生きているのを感じます。

何十億の人間が、動物・植物が、生きとし生けるものがこの日をいっしょに生きています。

命は、誕生してから数十億年の悠久の年月を受け継がれてきて、今私たちは生きているのだとある生物学者が話しているのを聞いて、命の尊さを改めて感じます。

命がむなしく失われていく出来事、特に十代半ばの少年事件が続いて報道された時はかなりのショックを受けました。どうしてこんなことがという驚きは社会全体に広がりました。



今年六月、自転車で七年か

けて五大大陸、五十五カ国、七万五千キロを走破した永谷彰郎さんの講演を聞きました。

感動して帰って、夜のNHKの特集番組で、エベレストを

滑降したことでも有名なスキーヤーの三浦雄一郎さんのお父さんが、立山の雪渓を数人の仲間とスキーで滑り降りる元氣な姿を見ました。その日は、床に就いてからも、お二人の生き方を考えていました。

自転車の永谷さんが旅立つたのは二十五歳で、勤めを辞めて冒険に出かけるのには、ご両親を説得するのに二年かかったということです。帰国後は京都府の養護学校に勤め、

大阪市でフリースクールを開校し、体験を子供達のために生かす活動をされています。

スキーの三浦さんは九十六歳の高齢で、毎年立山を滑っていて、百歳まで続けるのが夢であるという。骨折をする

と、夢がかなわなくなるので、毎日のトレーニングを欠かさず、骨を丈夫にするための食事にも気を配っています。

世代は違うが、お二人に共通するのは、永谷さんの講演の演題だった「夢と情熱が世界をかける」の夢と情熱だと思いました。

今、二十一世紀を生きている子供達をとりまく環境はバラ色とは言えず、困難なことの方が多いかもしれません。

しかし、四十億年の命を受け継いで、夢と情熱をもって、力づくで生きて欲しいと思っています。

今年六月、自転車で七年かけて五大大陸、五十五カ国、七万五千キロを走破した永谷彰郎さんの講演を聞きました。感動して帰って、夜のNHKの特集番組で、エベレストを

伝言板

大月保健所

大月市大月町花咲1608-3

☎(22)7824

骨髓移植に御理解を

大月保健所でも骨髓バンクの登録ができます。

白血病などの血液難病の患者さんを救うには、骨髓移植が有効な治療法です。

しかし、移植のためには白血球の型(HLA型)が一致しなければなりません。

HLA型が一致する確率は、数万人から数百人に一人とまじなため、移植を受けられない患者さんが大勢います。

そのため、広く一般の方々に善意の骨髓提供を呼びかける「骨髓バンク事業」により一人でも多くの方にドナー登録をお願いしております。

○ドナー登録は腕からの十ミリリットルの採血で済みます。

○年齢が二十歳から五十歳までの健康な方が対象です。

大月保健所では、毎週火曜日午前九時十一時に登録受付(説明と採血)をしていますので、骨髓の提供をしても良いと思われる方は、電話で予約をお願いします。

十二月一日は世界エイズデーです

世界エイズデーは、世界レベルでのエイズまん延防止と患者・感染者に対する差別、偏見の解消を図ることを目的として、WHOが世界に呼びかけ、定めたものです。

今年度のテーマは

「エイズを知ってあなたが変わる わたしも変わる」です。

我が国では、一九九〇年から異性間性交渉による患者や感染者が増加し、現在はその合計数が五、五〇〇人で、十年前の約七倍になっています。

なお、本県の人口十万人あたりの感染率はワースト四であり、危惧しております。

そこで、保健所では未来を担う若者たちに、正しい知識を具えてもらい、若者への感染拡大を防止し、これを通じて啓発普及を進めています。

また、早期発見により適切な治療効果が期待されます。不安になりましたら、いつでも保健所に相談ください。

